

宇宙の謎に挑む 国立天文台

2025
9月28日(日)

15:15 ~ 16:25

※7階サイエンスアート広場にて14:30よりご予約の方の受付開始
※開始後のご入場は出来ません

会場 千葉市科学館7階 プラネタリウム

定員 先着200名

対象 小学生以上 ※未就学児の入場不可

料金 無料

申込方法 2次元コードまたは下記
URLから申込フォームに
アクセスしてご応募ください
<https://forms.gle/mzsGvKSd6k4S69Ms7>



申込期間 8月23日(土)9:00~9月27日(土)23:59

※残席分は、当日14:30より7階サイエンスアート広場にて整理券を配布します。

「すばる望遠鏡ドーム」 撮影：藤原英明 提供：国立天文台

国立天文台は、宇宙を研究する天文学において日本の中枢となる機関であり、多くの天文学者や研究者が在籍しています。東京都三鷹市にある本部の他にも長野県の野辺山宇宙電波観測所や、ハワイ島のすばる望遠鏡、南米チリのアルマ望遠鏡など、国内外に多くの施設があり、巨大望遠鏡やスーパーコンピューターなどを駆使して、日々研究が進められています。今回は、国立天文台の山岡均先生から、宇宙の謎に挑む国立天文台の取り組みについて紹介していただきます。

講師 山岡 均 やまおか ひとし
国立天文台天文情報センター
広報室長/准教授



撮影：写真 まつばら

1965年、愛媛県生まれ。東京大学理学部天文学科卒、同大学院理学系研究科天文学専攻で学び、博士(理学)。九州大学大学院理学研究助教などを経て現職。専門は天体物理学、特に星の一生の最期を飾る超新星爆発の理論的観測的研究。天文学の教育や普及にも尽力しており、国際天文学連合天文アウトリーチ日本窓口、日本天文学会天文教育担当理事などを歴任。著書・監修書に『月と銀河と星のロマン 宇宙には138億年のふしぎがいっぱい!』(ナツメ社)、『星のサイエンス (学習まんがドラえもんふしぎのサイエンス)』(小学館、共著)など。